

## 2.4 スケジュール（開発）

年度	H19 2007	H20 2008	H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016
主要マイルストーン	プロジェクト準備審査 ▽	SAC事前評価(開発研究) プロジェクト移行審査 SDR ▽	SAC事前評価(開発) PDR ▽		CDR1 ▽		1次噛合せ —	CDR2 ▽	打ち上げ △	(2月17日)
衛星開発	概念検討 概念設計	基本設計		詳細設計		製作フェーズ		総合試験 射場		
追跡管制		地上系・運用ソフトウェア設計/開発				追跡管制系 I/F調整			立ち上げ試験観測	公募観測

設計・製造(調達)・検査期間

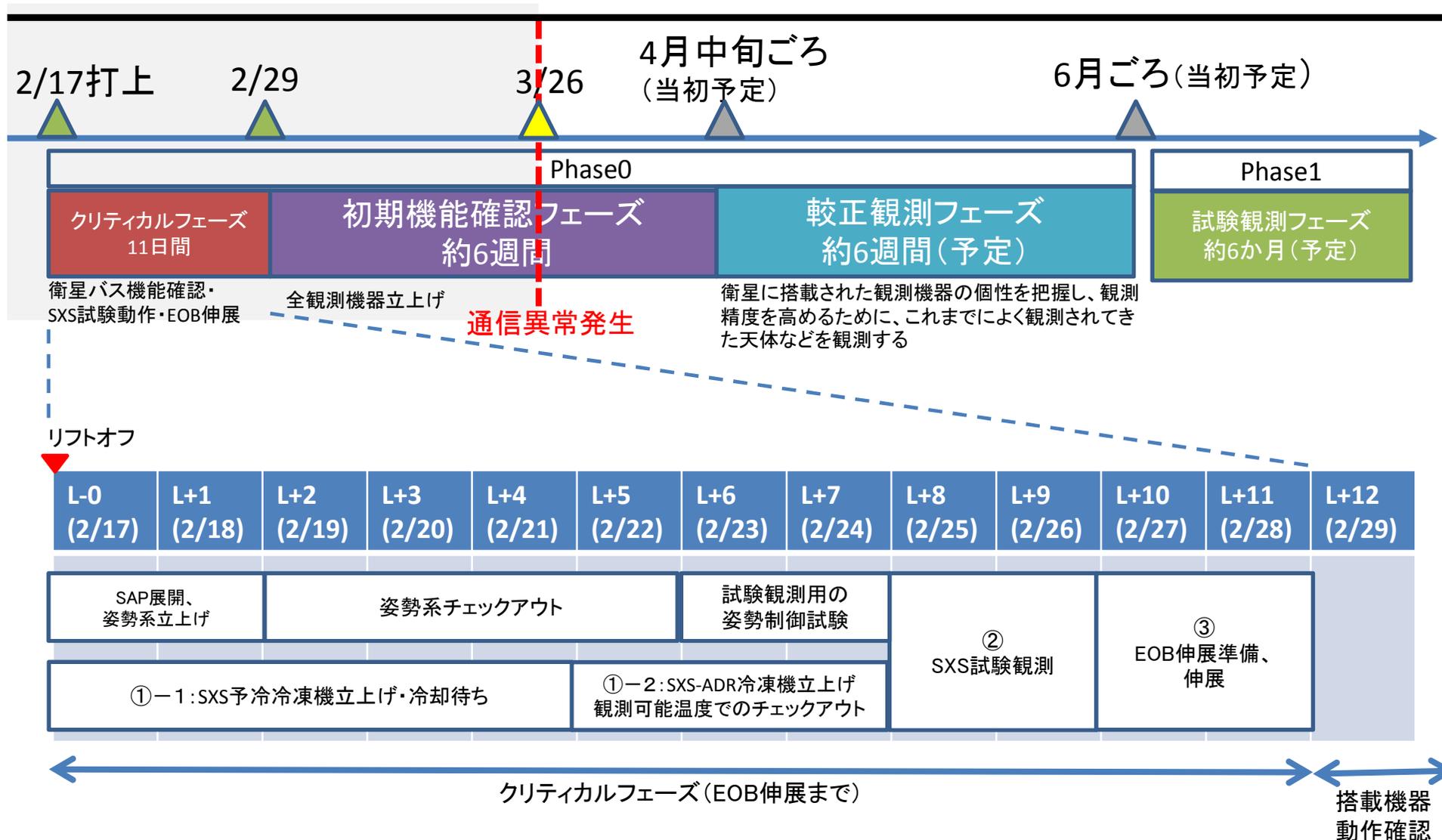
一次噛合せ  
試験※

総合試  
験※

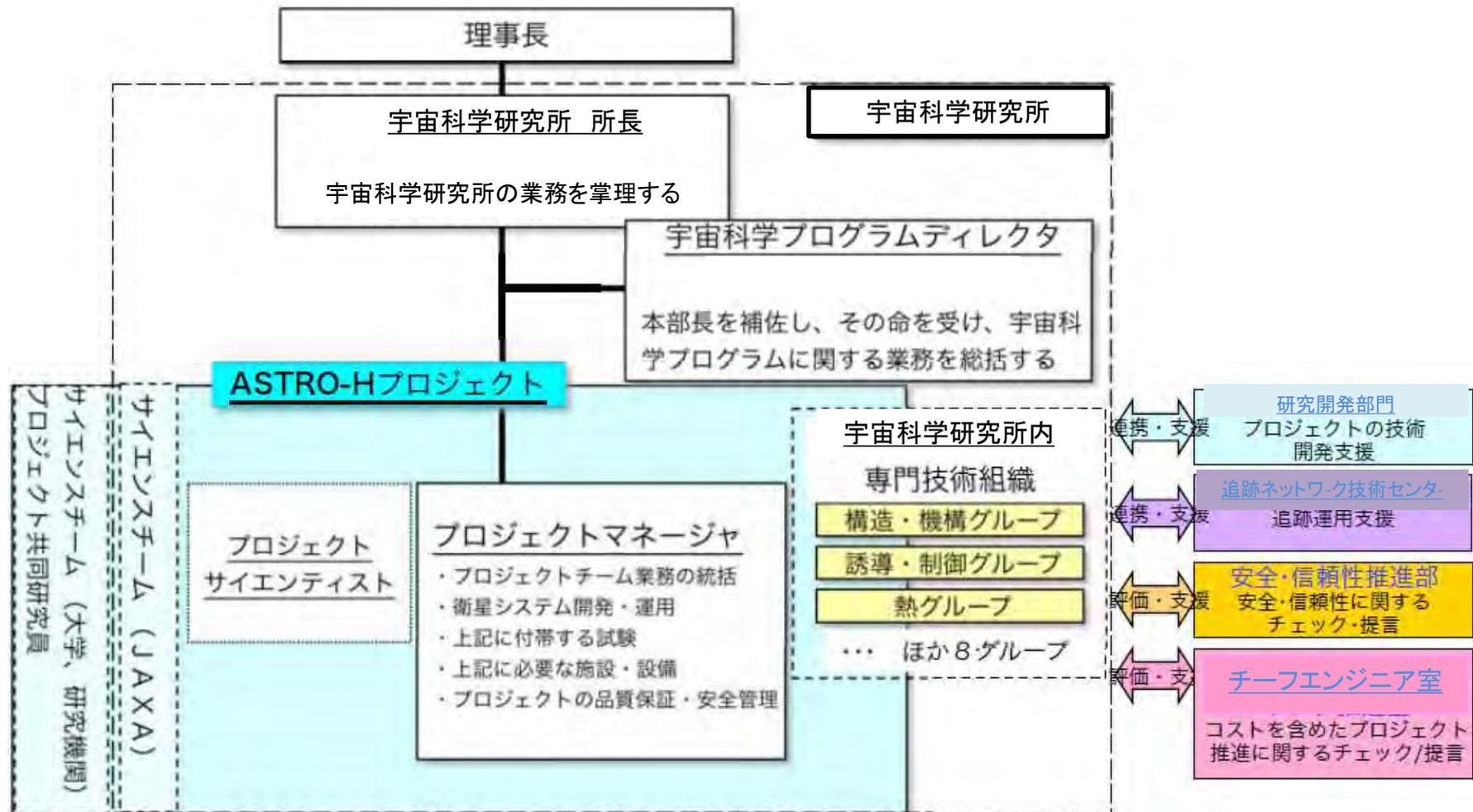
フライトオペレーション/  
クリティカルフェーズ/  
初期機能確認  
フェーズ

※衛星システム試験期間  
(一次噛合せ試験/総合試験)

## 2.4 スケジュール(運用)



## 2.5 開発体制(JAXA内)

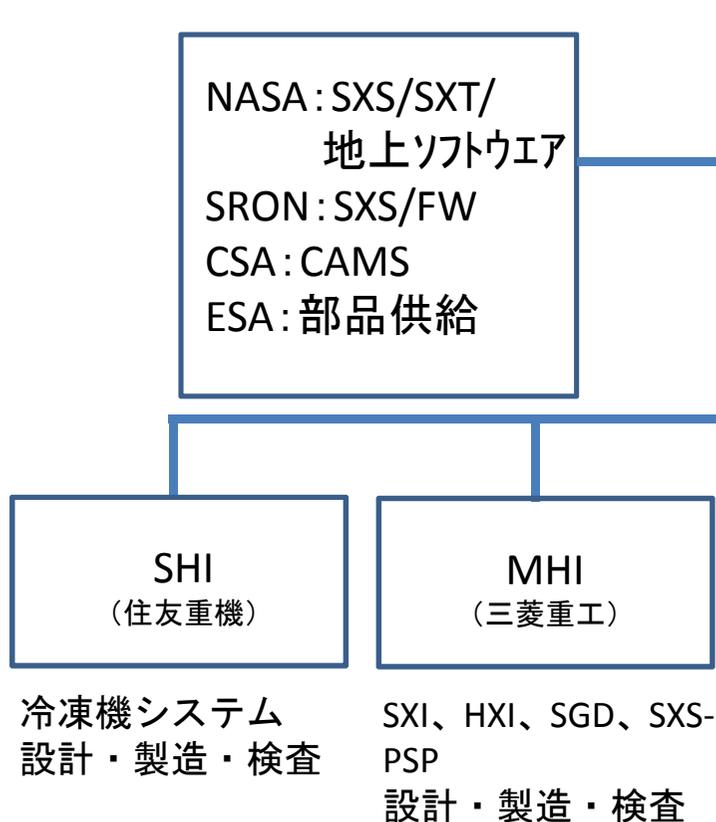


出典:平成20年7月25日 宇宙開発委員会推進部会・事前評価資料(平成20年8月26日 A改訂)より引用し、現在の名称に更新。

# JAXA-他機関/企業関係図(1/3)

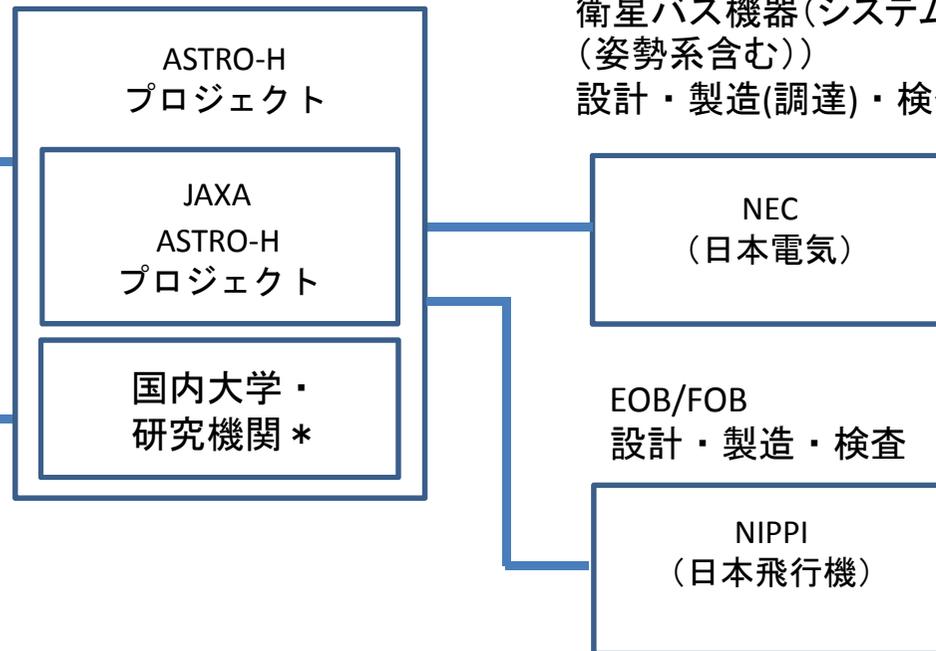
## 設計・製造(調達)・検査期間

### <ミッション機器関連>



### <衛星バス機器関連>

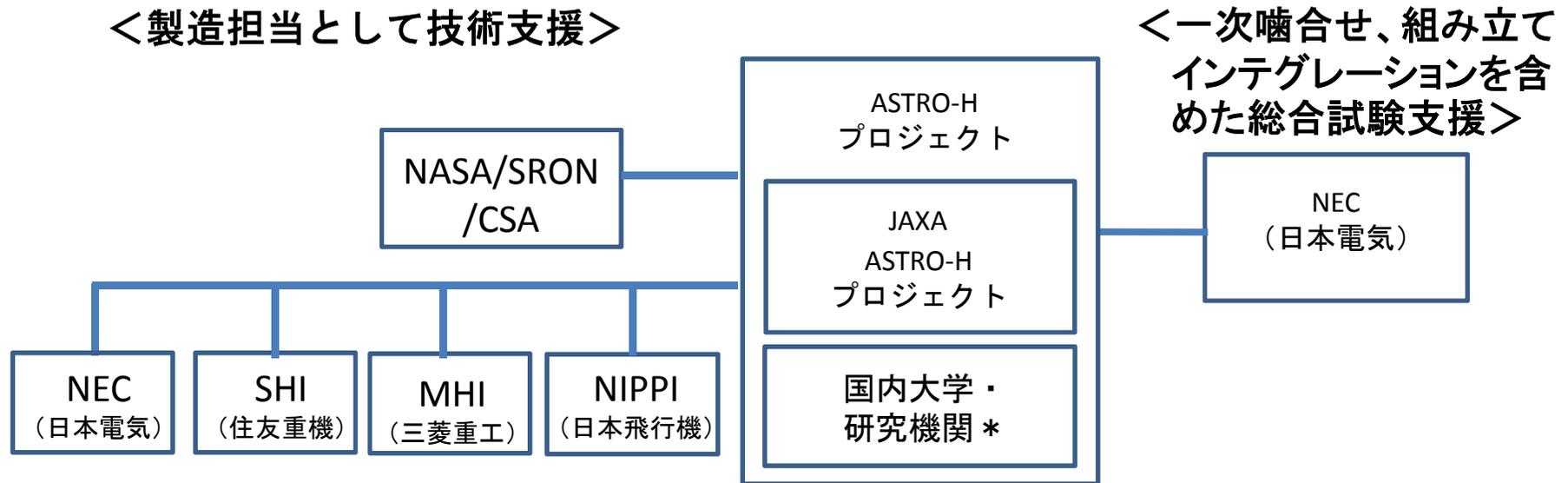
衛星バス機器(システム設計  
(姿勢系含む))  
設計・製造(調達)・検査



\* 大学共同利用システム研究員として、  
JAXA/ISASの一部をなす

# JAXA-他機関/企業関係図(2/3)

## 衛星システム試験期間 (一次噛合せ試験/衛星総合試験)



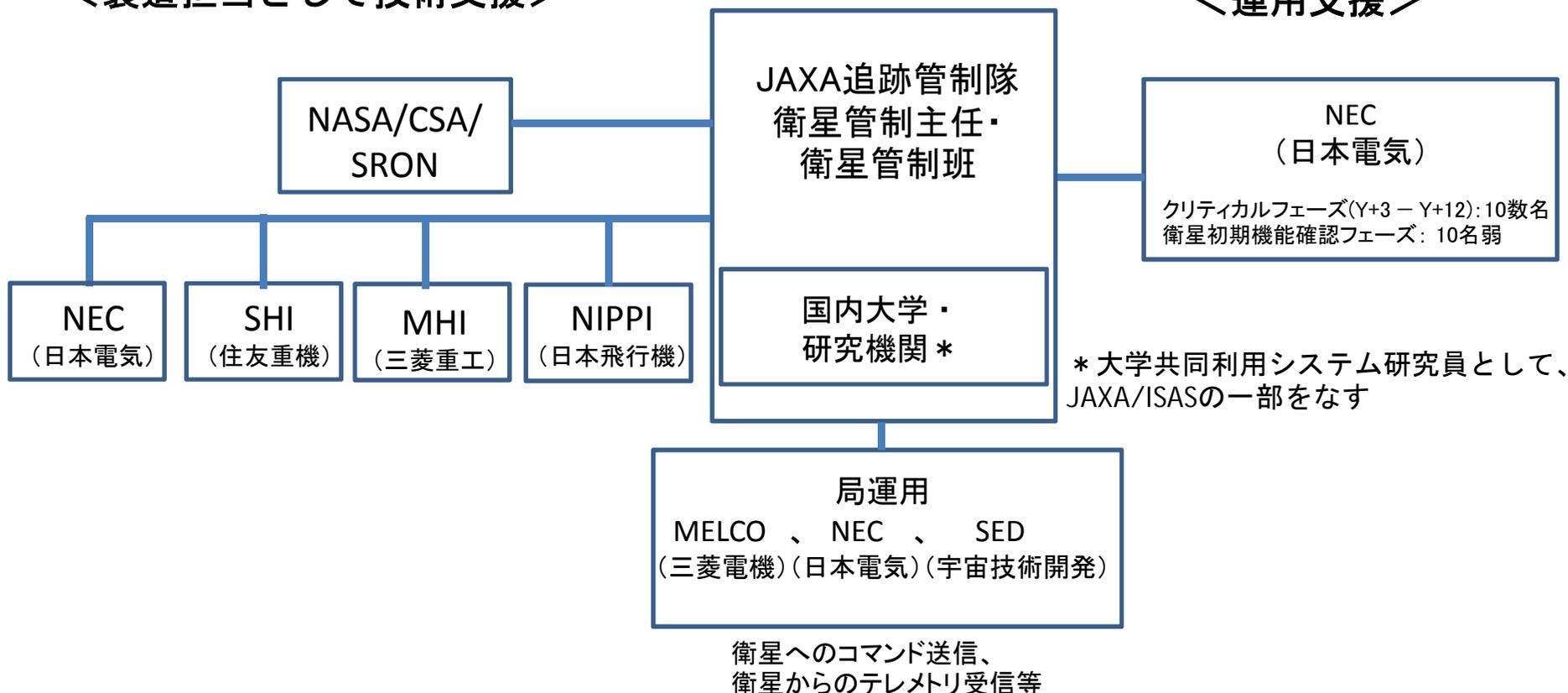
\* 大学共同利用システム研究員として、JAXA/ISASの一部をなす

# JAXA-他機関/企業関係図(3/3)

## フライトオペレーション・クリティカルフェーズ・初期機能確認フェーズ

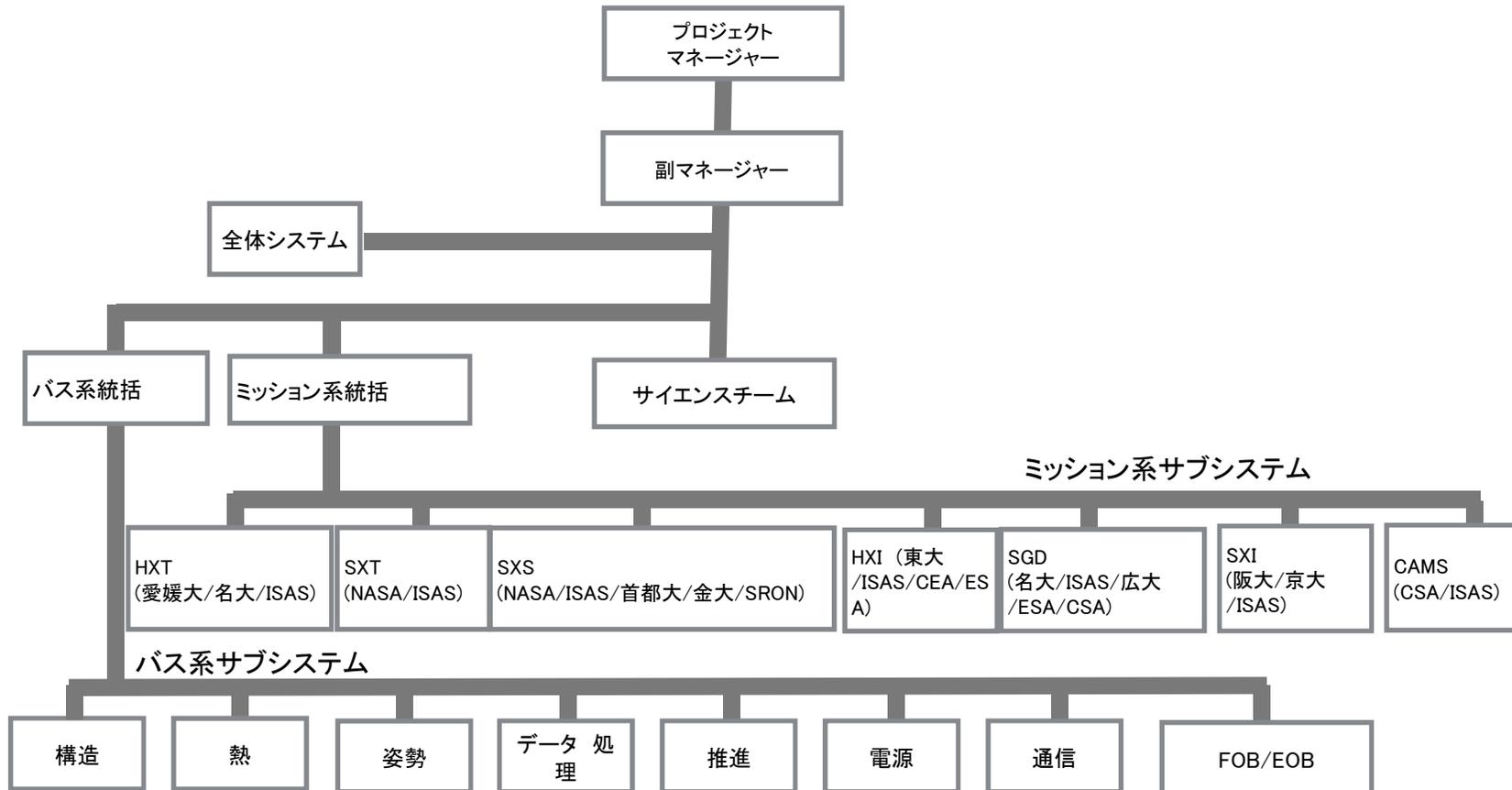
### <製造担当として技術支援>

### <運用支援>



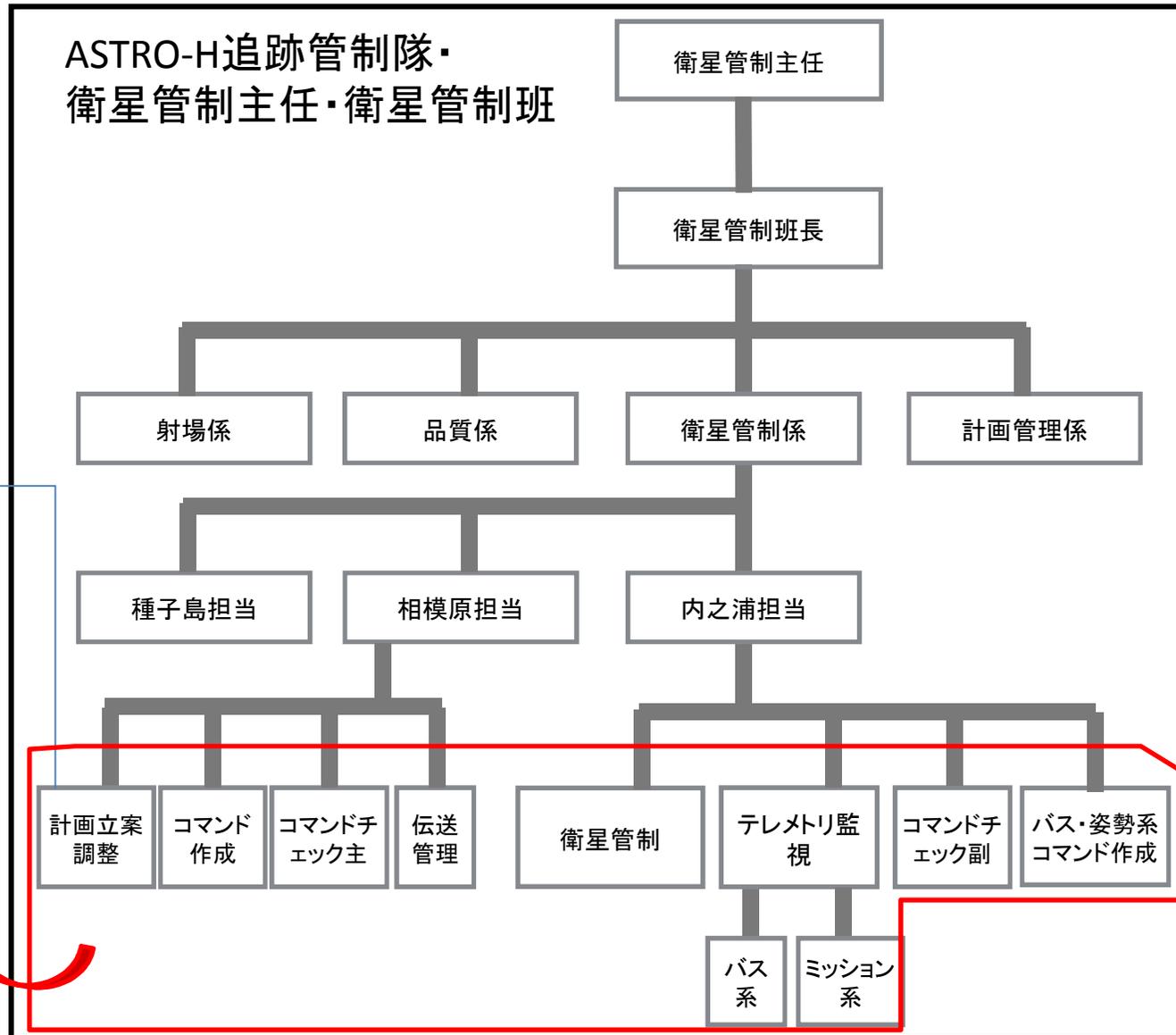
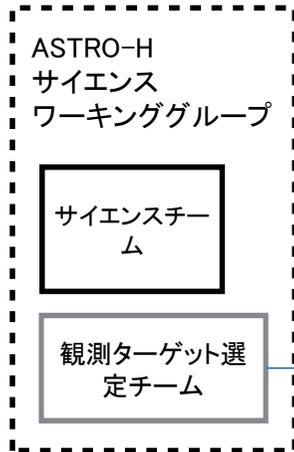
# ASTRO-H プロジェクト体制図

(括弧内はミッション機器PI/SubPIの所属機関)



# ASTRO-H追跡管制隊・衛星管制班体制図

(フライトオペレーション/クリティカルフェーズ/初期機能確認フェーズ)



	クリティカルフェーズ(Y+3 - Y+12)	衛星初期機能確認フェーズ
JAXA	20数名	10数名

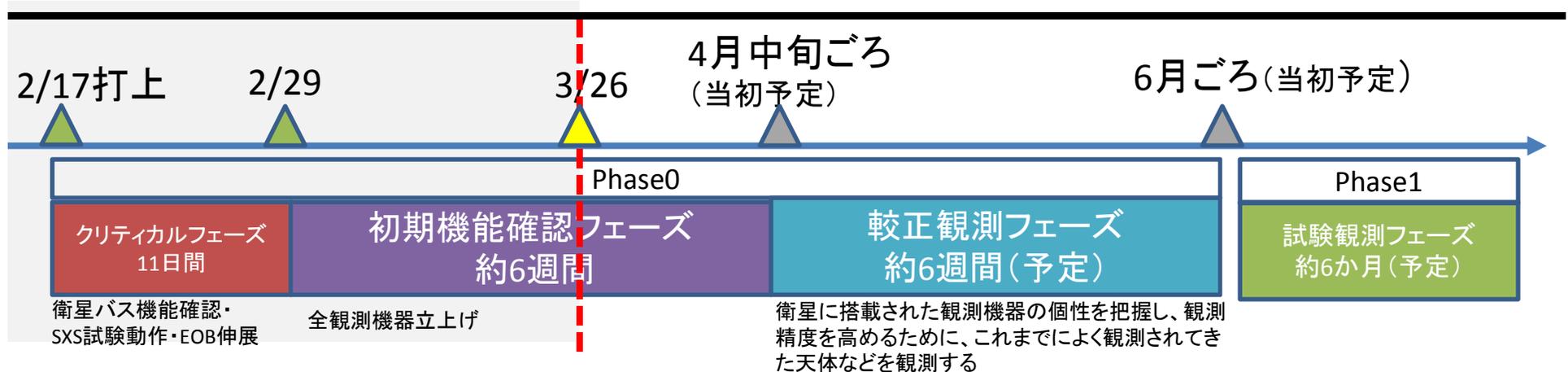
ミッション機器担当  
(10数名)を除く

### **3. 発生事象及び地上観測結果**

### 3.1 異常事象発生当初の運用の状況

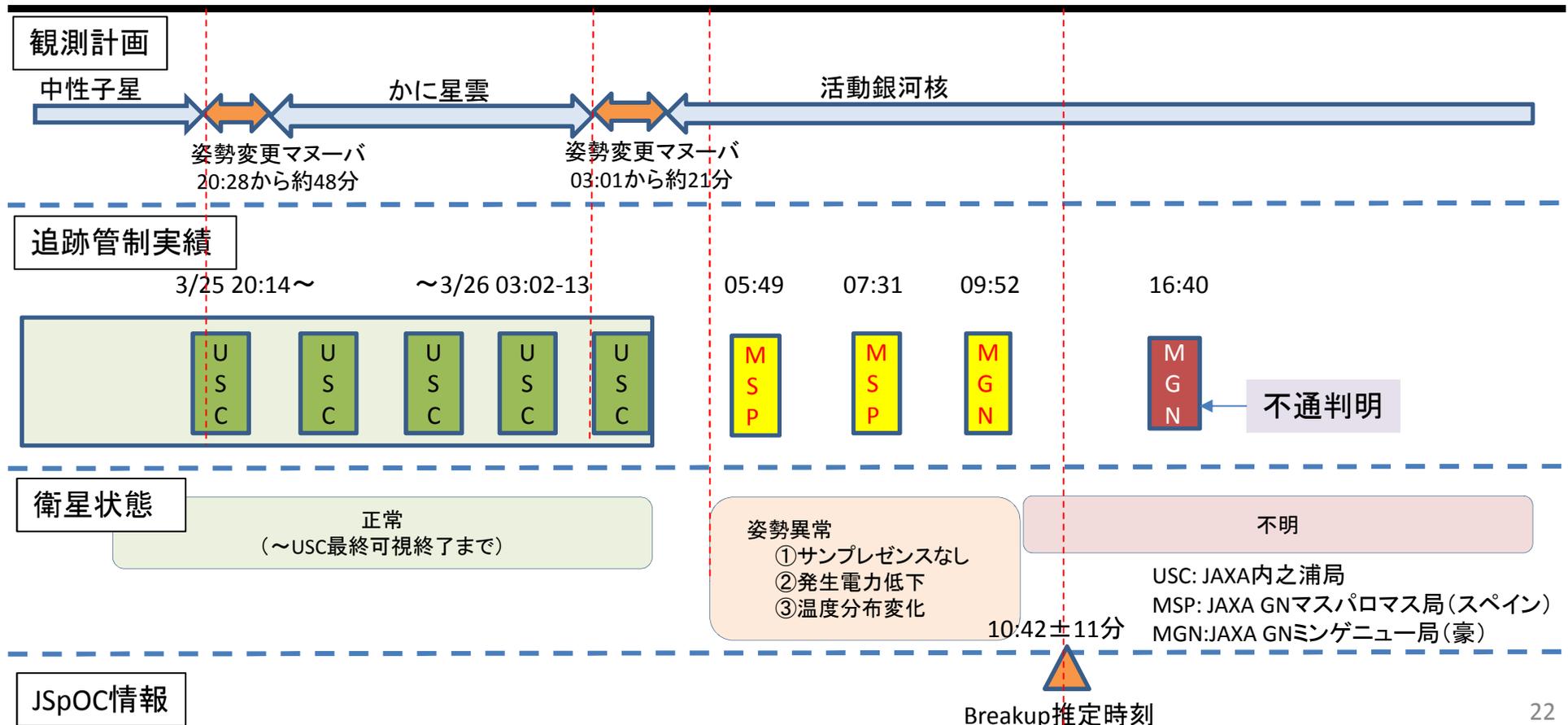
- 「ASTRO-H」は、通信不通が判明した3/26(土)時点では、全観測機器※の立ち上げを一通り完了しており、4月中旬に「校正観測フェーズ」へ移行予定だった。
- 異常判明前後の3/25(金)及び3/26(土)にかけては、次フェーズ移行に向けた準備として、複数のX線天体に望遠鏡指向し、全観測機器で試験観測中だった。

※軟X線分光検出器(SXS)、軟X線撮像検出器(SXI)、硬X線撮像検出器(HXI)、軟ガンマ線検出器(SGD)



## 3.2 異常事象発生当初のテレメトリデータ受信状況

- USC可視群では、コマンド・テレメトリ運用(衛星データレコーダ再生を含む)を行い、その他のMSP/MGN可視群では軌道決定のための運用(レンジング運用)のみを行う計画であった。
- USC可視群最終可視(3/26未明)以前の、非可視時間帯含む連続した全ての衛星テレメトリデータは、衛星データレコーダから再生・取得済みである。



### 3.3 最後の4可視での衛星状態サマリ

日本時間	受信局	姿勢	電源	通信	データ処理	温度分布
3/26 03:02-03:13	内之浦	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
3/26 05:49-06:02	マスパ ロマス	異常と 推定される	発生電力低下	異常なし	異常なし	一部に温度上 昇または低下 あり
3/26 07:31-07:44	マスパ ロマス	異常と 推定される	日陰	異常なし	異常なし	同上
3/26 09:52-10:04	ミンゲ ニュー	異常と 推定される	発生電力低下 (日照だが バッテリー使用)	異常なし	異常なし	同上